

## 北灘東小学校「学力・学習状況」改善プラン

1 学力向上推進員 職・氏名（ 教諭 坂東 香織 ）

2 学力向上検討委員会構成

| 職 名        | 氏 名   |
|------------|-------|
| 校長         | 藤 田 進 |
| 教頭         | 植 木 啓 |
| 教諭 教務主任    | 北 野 一 |
| 教諭 研修主任    | 中 瀬 彩 |
| 教諭 人権教育主事  | 佐 伯 玲 |
| 教諭 学力向上推進員 | 坂 東 香 |

3 現状・課題

|                  |   |
|------------------|---|
| 学<br>力           | <p>昨年度までの取り組みとして、「話す・聞く」力の育成がある。小規模校であり、大勢の前で話す機会が少ないため、全校朝会などで、全校児童の前で一人ひとりが発表する機会を意図的に設けてきた。そこでは、児童は自分が話したいことを事前に考え、400字～800字くらいの文章を暗記して話す。一年生から六年生まで全員がチャレンジし、どの子も自信をもって話し、その後喜びや達成感を感じている。また、そのときに、他の児童が質問をしたり、感想を話したりすることで聞く力の育成にも努めてきた。</p> <p>しかし、聞き手を意識した話し方がまだ十分できていない児童も多く、わかりやすく順序立てて話をすることが苦手である。また、話を聞く姿勢も十分でなく、聞き落としがあることも多い。</p> <p>また、本校の児童の実態として、「書く」力の育成が課題であると考え、授業改善や学校全体での取り組みを進めている。自分の考えはもっているが、それを文字に表すのが苦手という児童が多い。その児童の多くは、「書く」という活動に対して抵抗をもっており、どこからどう書いていいのかわからないようである。そこで、様々な場面で児童に「書く」という機会を多く与えるようにしていく。さらに、ただ書かせるのではなく、児童ができるだけ相手を意識し、目的意識をもって意欲的に書くことができるように機会を設定するように努める。また、上手に書けている作品を、他の児童の前で取り上げて読んだり、学級通信に載せたりすることで、他の児童もまねたり、また意欲的に取り組んだりできるようにしようと考えている。</p> <p>このように、今年度も昨年度に引き続き、「話す・聞く」力の育成に取り組むとともに、それに加えて「書く」力の育成にも取り組み、お互いが伝え合う力を高められるような言語活動の充実をより一層推進したい。</p> |
| 学<br>習<br>状<br>況 | <p>本校の児童の実態として、学習準備や学習の構えが十分でないところが課題として挙げられる。授業が終わったら次の学習の準備をしてから休憩をすることやチャイム着席、学習用具を忘れずもってくることなど、学習に対する基本的な構えは、学力へも大きく関わってくると考えられる。まず学習の構えを作り、じっくりと落ち着いて学習する姿勢を身につけることで「話す・聞く・書く」力を育んでいきたい。</p>   |

4 目標等

(1) 学力について

| 重点目標：学習の基礎となる「話す・聞く・書く」力の育成 |                                      |   |         |     |
|-----------------------------|--------------------------------------|---|---------|-----|
| 具体的目標                       | 数値目標                                 | 具体的方策   | 評価      | 改善点 |
| 相手を意識して「話す力」を育成する。          | 各学年で基本的な話型を使ってはっきりと話すことができる児童が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読や暗唱などの発声をする。</li> <li>・基本的な話型で発表する。</li> <li>・学んだことをいろいろな相手に対して発表する。</li> <li>・自己評価カードに記録する。</li> </ul> | 4・3・2・1 |     |
| 話の内容を考えて「聞く力」を育成する。         | 各学年で聞き取りの確かめを行い正確に答えることができる児童が80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢で聞く。</li> <li>・聞いたことに感想を言ったり書いたりする。</li> <li>・聞き取ったことを正確に言える。</li> <li>・自己評価カードに記録する。</li> </ul>     | 4・3・2・1 |     |
| 自分の考えを明確に「書く力」を育成する。        | 各学年で順を追ってわかりやすく書くことができる児童が80%以上      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の日記を書く。</li> <li>・読み聞かせなどで感想文や要約を書く。</li> <li>・招待状、お礼の手紙など、相手を意識し目的をもって書く活動を多く取り入れる。</li> </ul>         | 4・3・2・1 |     |

(2) 学習状況について

| 重点目標：学習準備など基本的な学習の構えを身につけさせる。 |                            |  |         |     |
|-------------------------------|----------------------------|--|---------|-----|
| 具体的目標                         | 数値目標                       | 具体的方策  | 評価      | 改善点 |
| 学力向上につながる基本的な学習の構えを確立する。      | 授業前の準備がきちんとできている児童が 80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に学習準備をする。</li> <li>・チャイム着席をする。</li> <li>・正しい姿勢で話したり聞いたりして学習に取り組む。</li> <li>・家庭学習を通して、学習内容の理解と前日準備の定着を図る。</li> </ul> |         |     |
|                               |                            |  | 4・3・2・1 |     |

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。